## 期末試験

2024年度春夏学期 大阪大学 全学共通教育科目 線形代数学 I 工 (理 63~123)

岩井雅崇(いわいまさたか) 2024/07/24

下の問題を解け、ただし解答に関しては答えのみならず、答えを導出する過程をきちんと記すこと.

第1 問. 次の行列A,B,Cのうち、積が定義される全ての組み合わせを求め、その積を計算せよ.

$$A = \begin{pmatrix} -2 & 1 & 5 \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 4 & 3 \end{pmatrix}, C = \begin{pmatrix} -2 & 5 \\ 1 & -3 \\ 3 & 0 \end{pmatrix}$$

第2問. 行基本変形と行列の簡約化を用いて, 次の連立1次方程式の解を求めよ.

$$\begin{cases} 2x_1 + 4x_2 + x_3 - x_4 = 1 \\ x_1 + 2x_2 - x_3 + x_4 = 2 \\ 2x_1 + x_2 + x_3 + 2x_4 = -2 \\ x_1 + 3x_2 + 2x_3 - 3x_4 = 0 \end{cases}$$

第 3 問. 行列  $\begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 2 & 3 & -1 \\ 3 & 4 & 1 \end{pmatrix}$  の逆行列を求めよ.

第4 問. 次の行列の行列式をそれぞれ求めよ

$$\begin{pmatrix}
1 & 1 & 1 & 1 & 1 \\
1 & 2 & 2 & 2 & 2 \\
1 & 2 & 3 & 3 & 3 \\
1 & 2 & 3 & 4 & 4 \\
1 & 2 & 3 & 4 & 5
\end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix}
3 & 0 & 1 & 0 & 0 \\
1 & 0 & 4 & 3 & 0 \\
3 & 4 & 0 & 2 & 0 \\
0 & 1 & 0 & 0 & 2 \\
6 & 0 & 2 & 5 & 0
\end{pmatrix}$$

第5問.連立1次方程式

$$\begin{cases} (\lambda - 3)x_1 - x_2 - 2x_3 = 0 \\ -x_1 + (\lambda - 3)x_2 + 2x_3 = 0 \\ -2x_1 + 2x_2 + \lambda x_3 = 0 \end{cases}$$

が  $x_1 = x_2 = x_3 = 0$  以外の解を持つような  $\lambda$  の値を全て求めよ.

第6問に続く

## 第6問

次の問題に答えよ. ただし解答に際し授業・教科書で証明を与えた定理に関しては自由に用いて良い.

- (1). 実数からなる n 次正方行列 A について,  ${}^tAA = E_n$  ならば,  $\det(A) = \pm 1$  であることを示せ. ここで  $E_n$  を n 次の単位行列とし,  ${}^tAA$  は  ${}^tA$  と A の積のことである.
- (2). 実数からなる n 次正則行列 A について, A の余因子行列  $\tilde{A}$  の行列式  $\det\left(\tilde{A}\right)$  は  $\det(A)^{n-1}$  であることを示せ.
- (3). 整数からなる n 次正方行列 A について,  $\det A = 1$  ならば, 逆行列  $A^{-1}$  のどの成分も整数であることを示せ.
- (4). 1以上の整数からなる 100 次正方行列 C で  $\det C = -2024$  となるものを一つ構成せよ. ただし答えだけでなくその理由も書くこと.

## おまけ問題

ある部屋に 100 人集められている. 別の部屋に 100 個のロッカーがあり, それぞれのロッカーには 100 人のうち 1 人の名前が書かれた紙が入れてある. 違うロッカーには違う名前の紙が入っている.

順番を決め、1人がロッカーの部屋に入り、50 個のロッカーを開ける。その中に自分の名前があれば、ロッカーを元の状態に戻し、次の人がロッカー部屋に入り、50 個のロッカーを開ける。これを繰り返し、100 人が皆自分の名前を見つけられたらゲームは成功。1 人でも名前が見つけられなければゲームは失敗である。

100 人はゲームを始める前に議論し戦略を決めることができる。ただしゲームが始まったらお互いに話すこと・情報を伝えることはできない。このゲームにおいて、30%以上の確率で成功する戦略を考えよ。

[補足] 普通にランダムにロッカーを開ける戦略では成功する確率は  $(\frac{1}{2})^{100}$  となってしまう. なおこの問題は 100 人の囚人問題と呼ばれている. 試験後解答が気になる方は調べてみると良い.

問題は以上である.